

応募の手順

- 1 実践発表の希望者・施設は、同封の「実践発表申込用紙」により、**2014年10月24日(金)必着**にて、「実行委員会事務局」にお申し込みください。
- 2 発表申込者・施設が多数で、発表時間並びに会場の関係でお断りをする場合は、先着順で決定させていただきます。**2014年11月下旬ごろ**に決定通知を送信いたします。
- 3 発表決定者・施設は、当日資料にレジュメを掲載いたしますので、決定通知に同封の様式にしたがって、**2015年1月16日(金)必着**にて、ご提出してください。
- 4 「ステージ発表」並びに「ポスター展示・説明者」は、セミナーへの参加が必要になります。**決定通知に同封する参加者募集要綱にて、セミナーのお申し込みを行ってください。**

実践発表にあたっての留意事項

お申し込み

- 発表形態を「ステージ発表」または「ポスター展示・説明」から選択し、ご希望の形態を申込用紙にご記入ください。(両方の形態をお申し込みいただくこともできます)【**申込期限:2014年10月24日(金)**】
- 申込用紙は1発表につき1枚ご記入ください。「ステージ発表」「ポスター展示・説明」の両方にお申し込みの場合は、各発表につき1枚ずつご記入ください。
- 発表のテーマ、内容を検討のうえ、事務局においてご希望の部門を変更させていただく場合もありますので、ご承知おきください。

発表準備

- 指定用紙への記入、図面及び勤務表の提出【**提出期限:2015年1月16日(金)**】
- 発表時にパワーポイントを使用する場合のデータの提出【**提出期限:2015年2月16日(月)**】

発表時間

- 3月14日(土)午後のうち、後日指定する25分間(質疑応答時間5分を含む)
- 発表テーマは前頁に掲載しております**全11部門**となります。1テーマを選択し、実践発表申込用紙へ必要事項をご記入・ご返送ください。
- パワーポイントを使用される場合は、申込用紙に必要な事項を記入してください。**発表申込時に希望した機材以外の用意はできませんので、あらかじめご了承ください。**
- 当日資料用のレジュメを期日までに提出されなかった場合は、発表の意思のないものとして準備を進めますので、ご注意ください。
- 1発表20分以内とし、最低5分以上の質疑の時間を確保してください。(合計25分間)
※特別部門のみ1発表10分以内+5分以内の質疑の時間を含む合計15分間となります。

ポスター展示・説明

- 指定の大きさ(縦180cm×横90cm)のポスターを作成
- 当日持参し、事務局指定のパネルに貼付。

- 展示期間:3月14日(土)
14日の質疑応答の時間には、ポスターの傍らにお立ちください。
- 発表テーマは自由に設定ください。
- ポスター展示・説明は、会場備え付けのパネル1枚(縦180cm×横90cm)に実践事例などを展示して、実践事例提供者と参加者が質疑応答などを行うものです。ポスター説明の時間帯は、ご自身のポスター付近にお立ちください。
- ポスター前に長机を1本用意いたします。パンフレット、物品等を置くことができます。
- パソコンやビデオ等でプレゼンテーションをされる場合は電源を用意いたしますので、申込用紙にその旨をご記入ください。
- 発表申込時に希望されなかった場合は、その後に用意することはできませんので、あらかじめご了承ください。**
- ポスターは当日お持ちいただき、発表者ご自身で展示・撤収いただきます。

発表のお申し込み先・セミナーに関するお問い合わせ先

実践発表のお申し込みは、同封の申込書にて、下記あてにお願いいたします。
なお、大会参加のお申し込みは、後日お送りいたします開催要綱をご覧ください。

気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー実行委員会

事務局／特養・老健・医療施設ユニットケア研究会 担当：田村・小野寺
〒981-0932 宮城県仙台市青葉区木町16番30号 シンエイ木町ビル1階
TEL:022-727-8732 FAX:022-727-8737
E-mail unit@clc-japan.com URL http://www.clc-japan.com/unit_care/

ユニットケアの 実践発表大募集!

第14回気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー in神戸

2015年3月14日(土)～15日(日)

神戸学院大学 有瀬キャンパス

[〒651-2180 兵庫県神戸市西区伊川谷町有瀬518]

認知症ケア 専門士単位 2単位

実践発表者には
発表者単位として
1単位加算されます。

「気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー」は、2001年の岡山県笠岡市をスタートに、これまで全国7か所で全13回が開催され、毎回、多数の実践現場から、日々の取り組みが発表されてきました。

ひとくちにユニットケアと言っても、その取り組みは施設によって実にさまざまです。既存施設を活用しながら、試行錯誤を重ねてようやくユニットケアに至った取り組みがあります。

このセミナーは、「ユニットケアの基本は現場の実践にある」との考えから、現場のスタッフがケアのあり方やスタッフの育成、施設と地域との連携などの実践をまとめ、伝え合い、交わり合い、より良いものにしていく場として開催します。このセミナーでの発表を機に、「お年寄りの表情が変わった」「職員の姿勢が変わった」「ケアが変わった」など、数多くの感想が寄せられています。

第14回目となる今回も、全国の実践発表をとおして、発表者と参加者がともに学び、考え合う場とすることを目的とし、神戸学院大学を会場に開催いたします。

主催：気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー実行委員会
共催：神戸学院大学／特養・老健・医療施設ユニットケア研究会

1日目 3月14日(土)

11:50～12:00 開 会(各教室にて)
12:00～14:05 実践リレー①(5発表)
14:05～14:20 休 憩
14:20～16:25 実践リレー②(5発表)
16:25～16:40 休 憩
16:40～17:55 実践リレー③(3発表)

同時開催
「ユニットケアの原点に迫る！」
なぜユニットケアは生まれたのか!?
特養・老健・医療施設ユニットケア研究会
代 表 武田 和典
全国コミュニティライフサポートセンター
理事長 池田 昌弘

18:30～20:30 交 流 会

2日目 3月15日(日)

A 【アンコール報告】
～好評だった発表のあれから1年、
その後の展開を報告します～

D 【アンコール講座】
前回のセミナーで反響の多かったプログラム
利用者の能力を引き出す、気づきの介護実践。
～動きの主導権を利用者に～
手稲溪仁会病院リハビリテーション部 主 任 大堀 具視

B 【現場実践支援講座1】
認知症の方とのコミュニケーション方法
「バリデーション」について
関西福祉科学大学 准教授 都村 尚子

C 【制度改革】
講演:介護保険制度の改正について
シンポジウム 質疑応答
行政説明:厚生労働省老健局 高齢者支援課 課長補佐 懸上 忠寿

昼 食・休 憩

E 【現場実践支援講座2】
ヘルプマン!の現場のリアリティ
「ヘルプマン!」作者・くさか里樹さんと
葭田美知子さん(NPO法人メイアイヘルプユー理事)による
対談

F 【特別企画】
ばあちゃん、介護施設を間違えたらもっとボケるで!
ベストセラー医師・長尾和宏さん&
「つどい場さくらちゃん」丸尾多重子さんによる
ぶっちゃけ放談

※2014年7月1日現在のプログラムとなります。若干変更することもございますのでご了承ください。
詳細は2014年12月頃、参加募集要綱で告知いたします。

第14回 発表募集テーマ

第1部門

私たちがはじめた、一人ひとりをたいせつにするケアの 取り組みで変わった施設ケア(初級編)

ユニットケアに取り組むことになったきっかけや、取り組みのなかで失敗してしまったこと、悩んだことなどの体験談、
また取り組みから気づいたことと見えてきたことなどについての発表を募集します。

第2部門

一人ひとりへの3大介護のあり方とその工夫(基礎編)

ユニットケアで3大介護(食事・入浴・排泄の介護)はどのように変わるのか。
3大介護にまつわる苦労や工夫について、発表を募集します。

第3部門

“食”の工夫で目指す、その人らしい豊かな暮らし

食事づくりや場づくり、買い物や外食、栄養マネジメントや口腔ケアなど、
その人らしい豊かな暮らしを目指す取り組みの発表を募集します。

第4部門

これまでの暮らしの継続をたいせつにした生活環境づくり

豊かに暮らすためには生活環境も欠かすことのできない要素の一つです。
これまでに暮らしてきた環境をできる限り変えないための地域とのつながりや施設の設えの工夫などの発表を募集します。

第5部門

介護者家族との協働で実現する、その人らしい暮らし方

利用者に身近な存在である家族はかけがえのないたいせつな存在であり、またさまざまな難しさを抱えていることもあります。
ご本人が望まれるその人らしい暮らしとその人生を実現するための、家族との関係づくりや協働・連携の取り組みについての発表を募集します。

第6部門

認知症の方とのコミュニケーションの工夫

認知症の方に対して尊敬と共感をもって関わるには?認知症の方の行動に対する理解や悩み、日常生活での見守りなど、
ケアに関する工夫や取り組みなどの発表を募集します。

第7部門

ターミナルケアから学んだこと、考えたこと、伝えたいこと

施設は、日々暮らしをおくるだけではなく、人生の最期の場となることもあります。「施設での看取りのあり方」「医療機関との連携」
「看取ることをとおして築かれた家族との絆」など、施設におけるターミナルケアの発表を募集します。

第8部門

一人ひとりの暮らしを支えるためのチームケアや多職種との連携

一人ひとりの暮らしを支えるには、その方向性や情報を共有するチームの構築や職種を超えた連携が必要不可欠です。時には、施設を超えた
協働や連携も必要となります。ケアに関わる専門職同士が協力しながら、利用者の暮らしを、より豊かにする取り組みの発表を募集します。

第9部門

施設の人材確保、初任者の育成と支援の方法

昨今、ケアの現場では人不足が深刻な問題となっています。現場経験や知識が少ない初任者に、ユニットケアの考え方をどのように
伝えていくか、職員が魅力を感じ、働き続けてくれる職場とは?人材から待遇改善など職場の環境づくりの発表を募集します。

第10部門

ユニットケアを支えるスタッフの育成、工夫したこと、苦労したこと

よりよいケアを提供すること、現場のさまざまな事情でリーダーや管理者は思い悩めます。いまの職員のやる気とやりがいを
引き出すにはどうしたらよいか。スタッフの資質をどう伸ばしていくか、育成のための工夫や体制づくりについての発表を募集します。

特別部門

思いのままに実践発表(ショート枠10分)

日頃の気づきを思いのままに。日頃のケアをするにあたって疑問や悩み、とにかく伝えたいことなど、なんでもOK!
ケアを中心に愛を叫ぶ!?通常よりも短い10分枠の実践発表です。

第14回 大会概要

■開 催 日:2015年3月14日(土)～3月15日(日)

■会 場:神戸学院大学 有瀬キャンパス
〒651-2180 兵庫県神戸市西区伊川谷町有瀬518

■定 員:800人

■発表者参加費:お一人 13,000円(発表者割引適用)
※1発表につき、お二人まで割引となります。※一般参加費 15,000円

過去の 実績

	日 時	開 催 地	発 表 数
第 1 回	2001年 12月 1日～ 2日	岡山県笠岡市	34発表
第 2 回	2003年 3月22日～23日	山口県山口市	70発表
第 3 回	2004年 1月17日～18日	沖縄県宜野湾市	114発表
第 4 回	2004年 7月26日～27日	北海道札幌市	132発表
第 5 回	2005年 12月 4日～ 5日	京都府京都市	185発表
第 6 回	2007年 2月10日～11日	高知県高知市	118発表
第 7 回	2008年 3月15日～16日	兵庫県神戸市	145発表
第 8 回	2009年 3月14日～15日	兵庫県神戸市	138発表
第 9 回	2010年 3月13日～14日	兵庫県神戸市	140発表
第10回	2011年 3月12日～13日	兵庫県神戸市	155発表
第11回	2012年 3月10日～11日	兵庫県神戸市	134発表
第12回	2013年 3月16日～17日	兵庫県神戸市	137発表
第13回	2014年 3月15日～16日	兵庫県神戸市	132発表

特養・老健・医療施設ユニットケア研究会とは・・・

宅老所など小規模ケアの実践を大規模施設のなかにも取り込み、できるだけ小規模で家庭的な環境のなかで普通の暮らしを実現しよう
という思いから、「ユニットケア」は誕生しました。

「特養・老健・医療施設ユニットケア研究会」は、こうして取り組まれてきたユニットケアの実証的研究と普及促進を目指して、実践者と研究者の
有志によって、1999年に発足しました。

同年10月、「ユニットケア」という用語がまだなかった時代に、「第1回ユニットケア全国セミナー」を福島県郡山市で開催。このセミナーでは毎回、
実践者や研究者、行政関係者などが、ユニットケアの意義を深めてきました。こうした実践提案も後押しして、翌2000年度にはユニットケア施設
の面積拡大の補助が認められ、2002年度には、「全室個室・ユニットケア」が制度化され、国の政策として高齢者介護施設の標準となりました。

また2001年12月には、ユニットケア施設の実践者が学会方式で実践を発表し、実践者同士が交流する、「気づきを築くユニットケア全国実践
者セミナー」を岡山県笠岡市で開催。以降今回で14回目を迎えました。

研究会では、セミナーの開催や研究事業をとおして、実践者や国などに働きかけながら、施設に暮らす高齢者の暮らしがより豊かになるよう、
応援しています。



FAX送信先

022-727-8737

「第14回気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー」実践発表 申 込 用 紙

1. 発表申込欄

①発表希望部門【希望する部門の記入欄に○をつけてください】

部 門	記 入 欄	発表形態	テーマ
第1部門		ステージ	私たちがはじめた、一人ひとりをたいせつにするケアの取り組みで変わった施設ケア(初級編)
第2部門		ステージ	一人ひとりへの3大介護のあり方とその工夫(基礎編)
第3部門		ステージ	“食”の工夫で目指す、その人らしい豊かな暮らし
第4部門		ステージ	これまでの暮らしの継続をたいせつにした生活環境づくり
第5部門		ステージ	介護者家族との協働で実現する、その人らしい暮らし方
第6部門		ステージ	認知症の方とのコミュニケーションの工夫
第7部門		ステージ	ターミナルケアから学んだこと、考えたこと、伝えたいこと
第8部門		ステージ	一人ひとりの暮らしを支えるためのチームケアや多職種との連携
第9部門		ステージ	施設の人材確保、初任者の育成と支援の方法
第10部門		ステージ	ユニットケアを支えるスタッフの育成、工夫したこと、苦労したこと
特別部門		ステージ	思いのままに実践発表(ショート枠10分)
ポスター		ポスター	自由設定

②発表テーマ・発表概要(テーマは30字以内、概要は100字以内)

【テーマ】

--

【発表概要】

--

③施設名

施設種別	特養(新型・既存・地域密着型特養)、老健、医療施設、障害児者施設、児童施設、グループホーム・ケアホーム、小規模多機能型居宅介護、その他()		
施 設 名		都道府県	

2. 使用希望視聴覚機材

■ステージ発表の方

パワーポイントの 使用有無	有 ・ 無	パワーポイント バージョン	2003 ・ 2007 ・ 2010
------------------	-------	------------------	--------------------

※パワーポイントの使用を希望される方は、パワーポイントのバージョンに○印をお書きください。

3. 発表代表者連絡先

氏 名		電 話	()
		FAX	()
住 所	〒		

	発表者氏名	施 設 名	職 名
1			
2			